

異年齢や地域の方とのふれあいのなかで

養基保育園では「いきいき・わくわく・笑顔がいっぱい」を目標にかかげ、五感を働かせて思いっきり友達と遊んだり生活したりできる「生きる力の育成」を願って保育を進めています。特に人的環境は大切と考え、異年齢児とかかわりや地域の方とのふれあいを心がけています。

① 未就園児との交流

～保育園ってたのしいよ！～



未就園児との交流として「遊びの広場」が6月から2月まで月に2回開催しています。この機会を利用して園庭やお部屋と一緒に遊ぶだけでなく、園の行事にも親子で参加していただきます。



夏のお楽しみ会ではたくさんさんの遊びのコーナーをまわり、ゲームや妖怪屋敷めぐり、片栗粉ねんど・園児と一緒に楽しむことができました。秋の運動会では、4歳児クラスのお友だちがアンパンマンのお土産袋を



作ったので、かけっこのゴールで優しく声をかけて渡してあげました。小さいお友だちとかかわりの中では、自然に優しい心が育つようです。



組合立 養基保育園 福祉活動

～福祉協力園の活動紹介～

② 地域の方との交流

～やぎ保育園による～

多世代交流・地域の方との交流として「祖父母参観」へたんぼほ会地域のお年寄りとの交流が恒例の行事となっています。たいへん楽しみにされている方も多いです。

〈祖父母参観〉

9月の祖父母参観には多数の祖父母の方に参加していただきました。一緒に手遊びやうたを楽しんだり、職員劇の「グリーンマンのピーマンマン」を見ていただき、子ども達と一緒に声援をいただきました。園児からのプレゼントにもにっこり笑顔を見せていただき、和やかに過ごすことができました。



〈たんぼほ会〉

11月には地域のお年寄りの方をお招きして一緒に遊びました。最初はぎこちなく話したり手をつないだりしていた子ども達でしたが、じゃんけんゲームをしたりマジックショーを見ているうちに打ち解け笑顔と笑い声がいつぱいになりました。子ども達とのふれあいを温かいまなざしで包んでくださり、すっかり甘えてしまう子ども達でした。年長組による「おもてなし」ではお礼の気持ちも込めて、お盆にお菓子とプレゼントをのせて運びました。少し緊張して一生懸命おもてなしをしようとする子ども達の姿に目を細め受け取っていただけました。「また来てネー」「ありがとう」「来年も来るねー」と互いに声を掛け合うほど、とても和やかな時間を過ごすことができました。



幅広い多世代交流の中で、人とかかわりを通して子ども達は豊かな心・人格作りがされていくことを確信しました。今後も多世代交流を保育に取り入れていきたいと考えています。